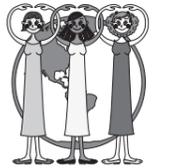


海外

姉妹都市・友好都市



日光市は海外姉妹都市として1市、海外友好都市として3市と盟約を結んでいます。今後4回にわたり各市を紹介いたします。

〔海外姉妹都市〕ラビット市（アメリカ合衆国）



マウントラッシュモア国立メモリアル

平成6年11月、旧今市市がラビット市と海外姉妹都市の盟約を結び、合併後の平成19年10月に日光市と再締結しました。再締結以降、市国際交流協会が、毎年中学生・高校生の相互派遣交流事業を行うとともに、隔年で両市の市民訪問団派遣事業を行っています。

夏は乾燥し気温は30度を越え、冬は日光市ほど寒くないものの雪が積もります。ラビット市は、1874年に金が発見されて以降人々が移り住み、2年後の1876年に金採掘の町として建設されました。市の産業は鉱業や農業、林業が盛んですが、近年は観光が主力産業となっています。4名のアメリカ大統領の顔が彫られた岩山「マウントラッシュモア国立メモリアル」と、巨大なネイティブアメリカンの彫像「クレイジーホース記念碑」が特に有名です。また市周辺にはバッドランズ国立公園やデビルズタワーなどの大型観光スポットがあり、長期滞在型観光の拠点として発展しています。



クレイジーホース記念碑

平和の意義について考えましょう



8月は平和月間です

くわしくは 総務課 総務係 ☎(21)5130



市は、世界の恒久平和を願い平成19年3月に「非核平和都市」を宣言しました。また8月を平和月間とし、中学生の広島平和記念式典派遣や平和パネル展などの平和に関する事業を集中的に実施し、「非核平和」の呼び掛けを行っています。広島、長崎の悲劇を絶対に繰り返さぬよう、全世界に向けて核戦争、核兵器の廃絶を訴えましょう。

今年も広島、長崎の両市で原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和を祈念して、平和祈念式典が行われます。家庭や職場で、恒久平和を願い黙とうを捧げましょう。

広島平和記念式典派遣事業

市は、広島平和記念式典派遣事業として、市内の中学生を広島へ派遣しています。

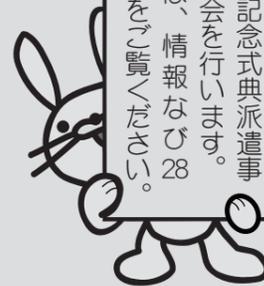
中学生は式典への参加や周辺施設の見学など、戦争や原爆について直接肌で感じることで、平和の大切さを学びます。



昨年開催した広島平和記念式典派遣事業報告会の様子

- ◆黙とうの時間◆
◆広島市：8月6日(月) 午前8時15分から1分間
◆長崎市：8月9日(木) 午前11時2分から1分間
◆終戦の日：8月15日(水) 正午から1分間

8月18日(土)に、広島平和記念式典派遣事業報告会を行います。詳細は、情報ナビ28ページをご覧ください。



平成23年度の電源立地地域対策交付金事業についてお知らせします

市は電源立地地域対策交付金を活用し、さまざまな事業に取り組んでいます。

今回は、交付金の内容や平成23年度に行った事業を紹介いたします。

くわしくは 総合政策課 政策調整係 ☎21-5131

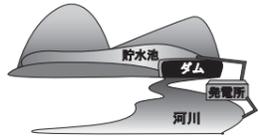
電源立地地域対策交付金とは

電源立地地域対策交付金は、国のエネルギー施策の一つです。発電用施設の設置や運転の円滑化を図るため、電源地域の市町村で行われる公共用施設の整備や、地域住民の福祉の向上を図るための地域活性化事業に対して交付されます。

電源地域とは

交付金の対象となる電源地域とは、発電所や発電用のダムなどの発電用施設が所在する市町村とその周辺の市町村のことです。また、貯水池やダム、貯水池の水を利用した発電所、ダム下流の河川などが、発電用施設に該当します。

発電用施設



平成23年度の取り組み

平成23年度は、電源立地地域対策交付金により次の4つの事業を実施しました。

①栗山ふるさとサマーウォーク実行委員会への補助事業

栗山ふるさとサマーウォーク実施事業費の一部を補助しました。交付金額：6,000,000円



③日光聖苑火葬炉修繕事業

斎場「日光聖苑」の老朽化した火葬炉2基の修繕工事を行いました。交付金額：16,000,000円

④小中一貫教育における英語教育事業

小中一貫教育による市内全域での英語指導助手(ALT)および臨時指導助手を活用した小中学校の英語教育事業を実施しました。交付金額：51,000,000円



②救助資器材整備事業

水難事故対応のため、老朽化した潜水救助活動用器材を更新しました。

ほっとメール

皆さんからのご意見やご要望と、その回答を紹介いたします。

お問い合わせ

幼稚園は上の子が小学生の低学年なら、下の子は2人目扱いになり保育料が安いのに、保育園は上の子が卒園したら下の子は1人目扱いになり保育料が高いです。しかも収入に対して保育料が高いです。

もっと差のない保育料にしてもらいたいです。

市長がご回答します。

保育園、幼稚園の保育料の減免は、子どもの多い世帯への負担軽減のために国が制度化しています。

幼稚園の場合、3歳児から小学校3年生までの年長者を第1子として、入園児が2人目の場合半額程度、3人目がほぼ無料となります。

保育園の場合、0歳児から就学前児童を対象に、同時入所の2人目が半額、3人の場合2人目が半額、3人目が無料となっています。また市は独自に、18歳未満のお子さんを3人以上養育している世帯に対し、入所児童が第3子以降かつ3歳児未満の場合、その保育料を県の補助を活用して無料にしています。

次に収入に対して保育料が高いとご指摘について、保育料は保護者の収入に応じて国が定めた8階層分類を基本としています。しかし日光市では、子育て支援の一環として、各階層において独自の基準を設け、さらに減額しています。

※内容は一部要約しています。

ご意見やご提案、ご要望などをお待ちしています。

- あて先 日光市長 斎藤文夫
○手紙 〒321-1292 日光市今市本町1番地
○FAX 0288-21-5545
○Eメール(市ホームページからも送信できます) hishokouhou@city.nikko.lg.jp